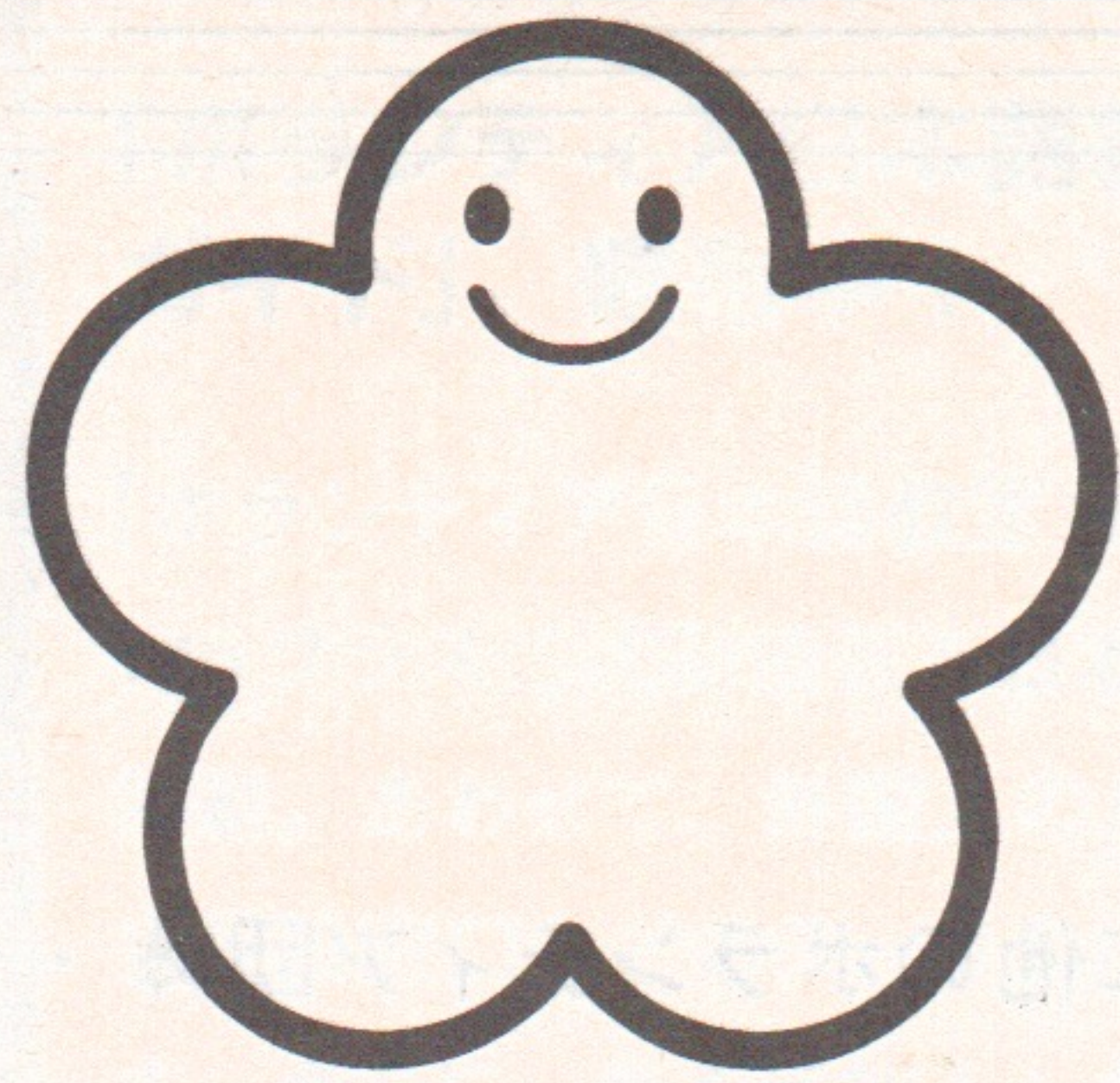




Nihongo Network News

1999.4.3発行

No. 20

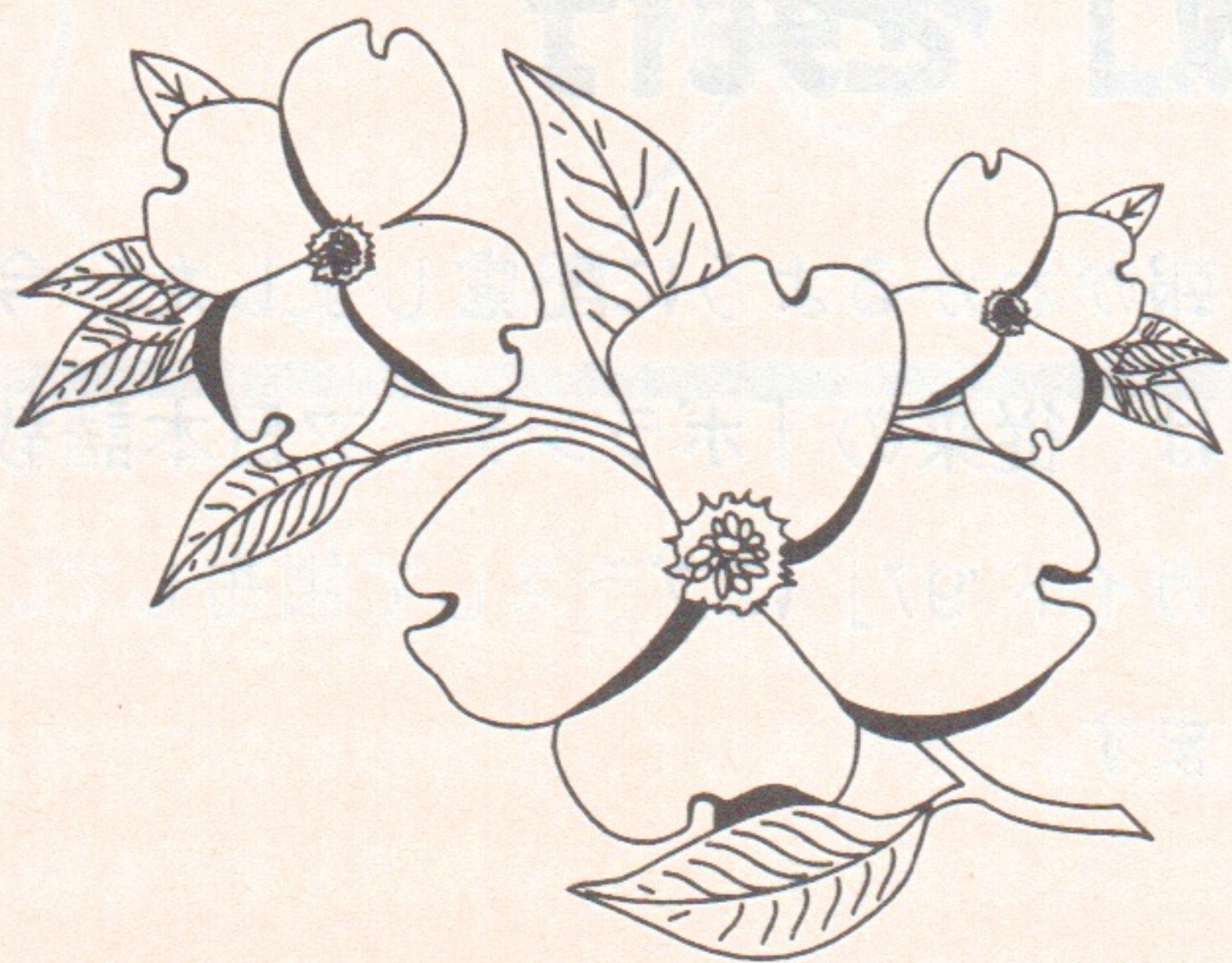
TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワーク

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 東京ボランティア・市民活動センター 気付 ☎03-3235-1171

『日本語ボランティア入門講習会』 盛況のうちに開催中！

日本語ボランティアへの関心が高まるなか、TNVN事務局への日本語ボランティアに関する問い合わせも増加しています。そのなかでも一番多いのが「日本語ボランティアをしてみたいのですが…」という問い合わせ。そこで、このような日本語ボランティアに関心がある方々を対象に開講されているのが“TNVN 日本語ボランティア入門講習会”です。

日本語ボランティアをしたいという問い合わせの多くは、これまで日本語ボランティアの経験がないという人々です。日本語ボランティアは、ある程度のスキルが求められるボランティアでもあります。日本語が話せるから、日本人だから必ずしも誰でもできるというものでもありません。また

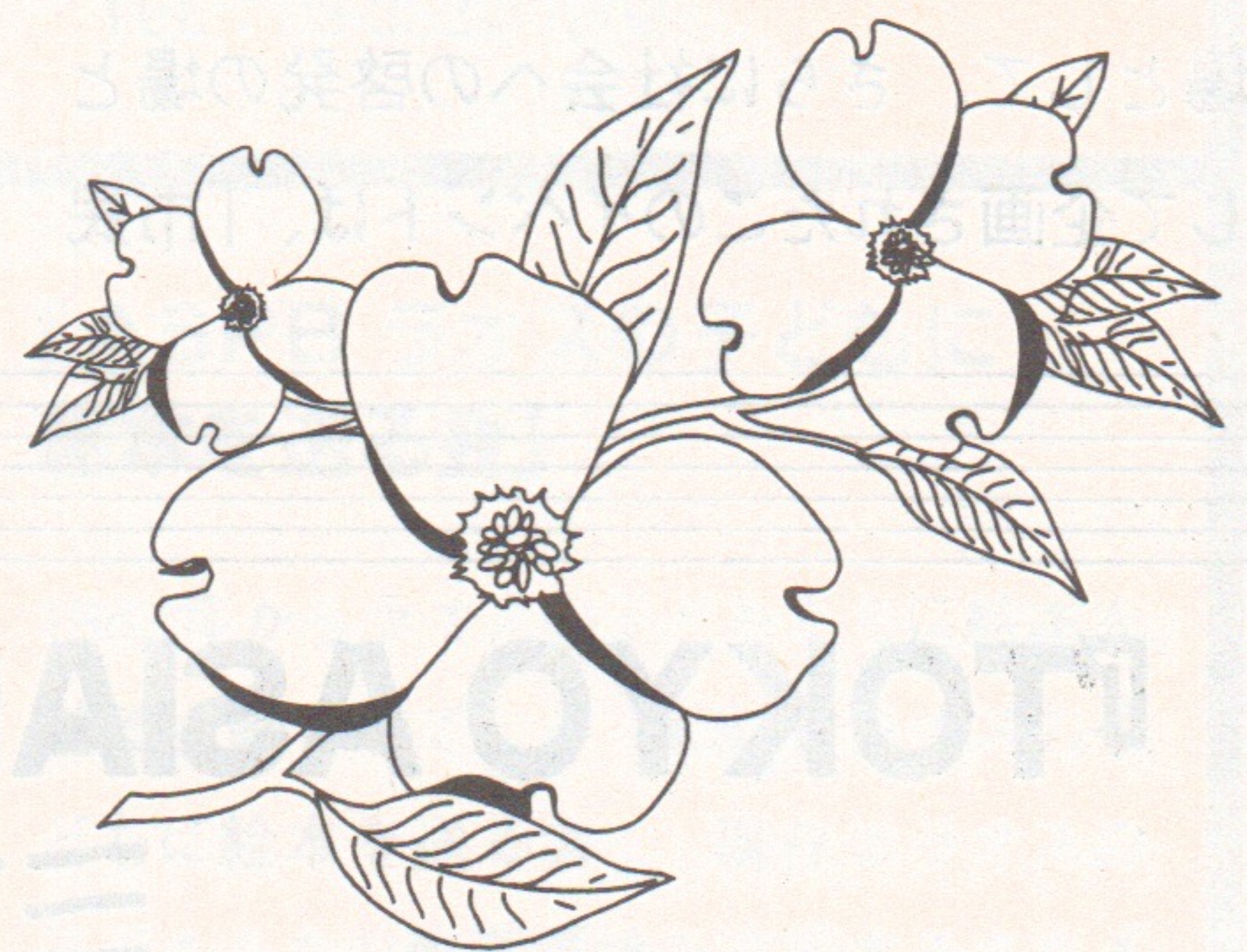


反対に、日本語教師養成講座を修了していなければならないとか、外国語の能力が必要なのでは、という誤解も多いようです。

そこで、TNVNでは日本語ボランティアの経験がない方々へのオリエンテーションとして、日本語ボランティア入門講習会を開講しています。この講習会は、毎月1テーマで、全4回で修了。受講者の都合のよい時間帯に参加していただけるように、毎月第2月曜日の午後（14:00～16:00）と、第4月曜日の夜間（18:00～20:00）に同じ内容で開講しています。年間を通じて4つのテーマを繰り返しとりあげているので、どの月からでも参加していただけます。

毎回、熱心な受講者からの質問で、講習会は予定時間をオーバーする盛況ぶり。

「具体的な事例が聞けて、日本語ボランティア活動のイメージがわかった」「日本語学校と日本語ボランティアの違いがわかった」と好評で、これまで多くの方々が受講して、修了後は各



地域でのボランティア活動に参加しているようです。これから日本語ボランティアをはじめてみたいという方には、ぜひ受講をおすすめください。

今後の開講予定は下記の通りです。

◆日時

'99年4月12日(月) 午後2～4時
'99年4月26日(月) 午後6～8時
'99年5月10日(月) 午後2～4時
'99年5月24日(月) 午後6～8時

◆テーマ

(4月) 日本語学習者の現状
(5月) 日本語をどのように教えるか

◆会場

東京ボランティア・市民活動センター
会議室
(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分)

◆参加費

1回 600円 (TNVN会員は300円)

◆参加申込み

直接、会場へおこしてください。

ボランティアとNPOがつくる 『めっせ・TOKYO '99』に参加

東京ボランティア・市民活動センターの主催による「ボランティアとNPOがつくる『めっせ・TOKYO '99』」が、2月11日(祝)～14日(日)の4日間にわたって飯田橋セントラルプラザを会場に開催されました。ボランティア活動やNPOの社会的課題の発見・提起の場として、さらに社会への啓発の場として企画されたこのイベントは、「市民

がつくるNPO、始動！」が今回の総合テーマ。4日間の会期中には、特別記念講演や各種の分科会、パネルディスカッション、ボランティア・市民活動展示相談、ボランティアミニ体験、日英ボランティア・市民学習推進者交流会などが開催されました。

TNVNも13日(土) 14日(日)の2日間、飯田橋セントラルプラザ1階の区

境ホールに他のボランティア団体・NGO等とともにブースを出展。日本語ボランティア活動の紹介や相談者への対応を行いました。また、記念講演やワークショップ、交流会はイギリスからCSV市民学習担当部長のジョン・ポッター氏を迎えて開催。イギリスで展開されているプログラムの実例などを交えての内容の濃い講演となりました。

『TOKYO ASIAN CITY FESTIVAL '98』に参加 ミニステージやバザールなど多彩に開催

世界と友達になる会（東京エイジアシティ・フェスティバル'98実行委員会）の主催する「TOKYO ASIAN CITY FESTIVAL'98」が、'98年9月19日(土) 20日(日)の2日間にわたって、代々木公園において開催されました。これは、アジアの国々と日本との交流や、資源を保護するためのリサイクルをテーマとしたイベント。アジア各国の民族芸能などを紹介するミニステー

ジやエスニック雑貨や食品の即売をする各国のブース、アジアを中心とした国際交流を目的に活動している各種の団体やNGO、大使館等の展示ブース、一般参加のフリーマーケットなど、アジアの文化を広く紹介するバラエティゆたかなイベントとなりました。

このイベントの実行委員会のメンバーとして参加しているTNVNも、この2日間は会場にブースを出展。TNVN、

ボランティア日本語教室活動の紹介や「ボランティア日本語教室ガイド」「日本語ボランティア意識調査報告書」の頒布などを実施しました。会場には外国人の来場者の姿も多く見られ、なかにはこの会場ではじめて日本語ボランティアの存在を知ったという外国人もいて、有意義な交流の場となったようです。

「ボランティア日本語教室ガイド 改訂版」を発行

「ボランティア日本語教室ガイド'97」を発行してから1年以上が経過し、各教室の連絡先等の変更も多くなったことから、TNVNでは昨年会員団体にアンケートを実施。その結果を「ボランティア日本語教室ガイド 改訂版」とし

て2月に発行しました。

この改訂版には、ボランティア日本語教室の変更事項や、'97年の発行以降に新しくTNVNに加入した日本語ボランティア団体の活動情報を掲載。ボランティア日本語教室の最新の活動情

報がわかるように配慮しました。今後は、従来の「ボランティア日本語教室ガイド'97」にプラスして頒布していきます。

に ほ ん ご

ア イ デ ア

ボ ツ ク ス

日本語学習支援のためのヒント集

ボランティア日本語教室での学習は、日本語学校と違って学習者のニーズもさまざま。そのため既存のテキストや教授法通りにはいかないことも多く、学習者に合わせた工夫も必要です。

このページでは、日本語学習者を支援するときに、役立った教材、理解を早めたアイデア、上達を助けるコツなど、経験から生みだされた工夫やアイデアをご紹介します。学習のなかで効果をあげているボランティア日本語教室ならではのアイデアやヒントなど、皆さんの財産もぜひご提供ください。

学習に役立つ7つのヒント

多摩市国際交流センター 日本語セミナー 井上 和美

1. 短文作り

新しい文型や言葉が登場したときには、短文作りをおすすめします。学習者とボランティアとが交互に一文ずつ作っていくと、意外によい勉強になります。(例：もし…ならば、たとえ…でも、まるで…ようだ)

2. 文章暗記

これは重要と思う文章を暗記しましょう。すぐにはできなくても、次回の学習日までの宿題にしておきます。とくに初心者には、理屈抜きで覚えるよう働きかけます。その後、その文章を使う場面を設定して、トレーニングします。

3. 日記をつける

一週間のあいだに心に残ったできごとなどを日記に書いてもらいます。ひらがなを書くことがまだ苦手な学習者には、ローマ字で書いてもいいということにして、徐々にひらがなで書けるようにしていきます。

学習時間の一部で日記を披露してもらいますが、このなかからさまざまな話題が広がります。

4. しりとり遊び

最後に「ん」のつく言葉は言わないという約束で、しりとり遊びをします。知らない言葉がでてきて新しい発見につながったり、もっとたくさんの言葉を覚えようという動機づけにもなります。私たちのクラスではティーパーティーのときなどにゲームのひとつとして行っています。やっているうちにだんだんエキサイトして、大きな声になっていくのもおもしろいものです。

5. 電話をかける

ときどき学習者に電話をかけることもあります。音声だけでどの程度文章を理解することができるか、また、話すことができるかを把握するためです。学習日に電話での会話を思い出して、難しかったところ、よかったところなどを話し合うのもよいのではないのでしょうか。

6. 日本地図・世界地図の活用

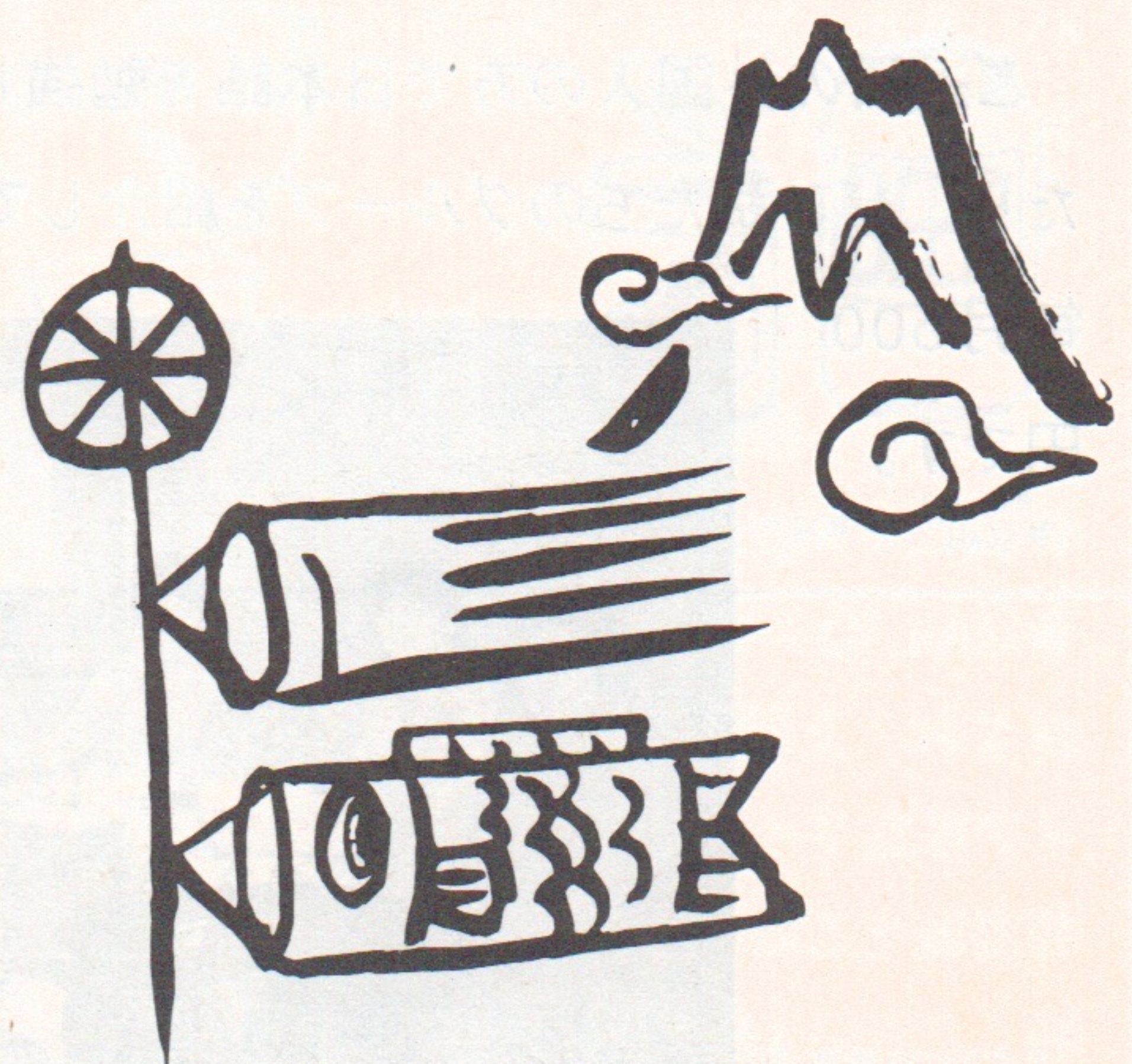
専用スペースがあれば、大きな地図を貼っておくことをおすすめします。日本の地名が登場したとき、あるいは世

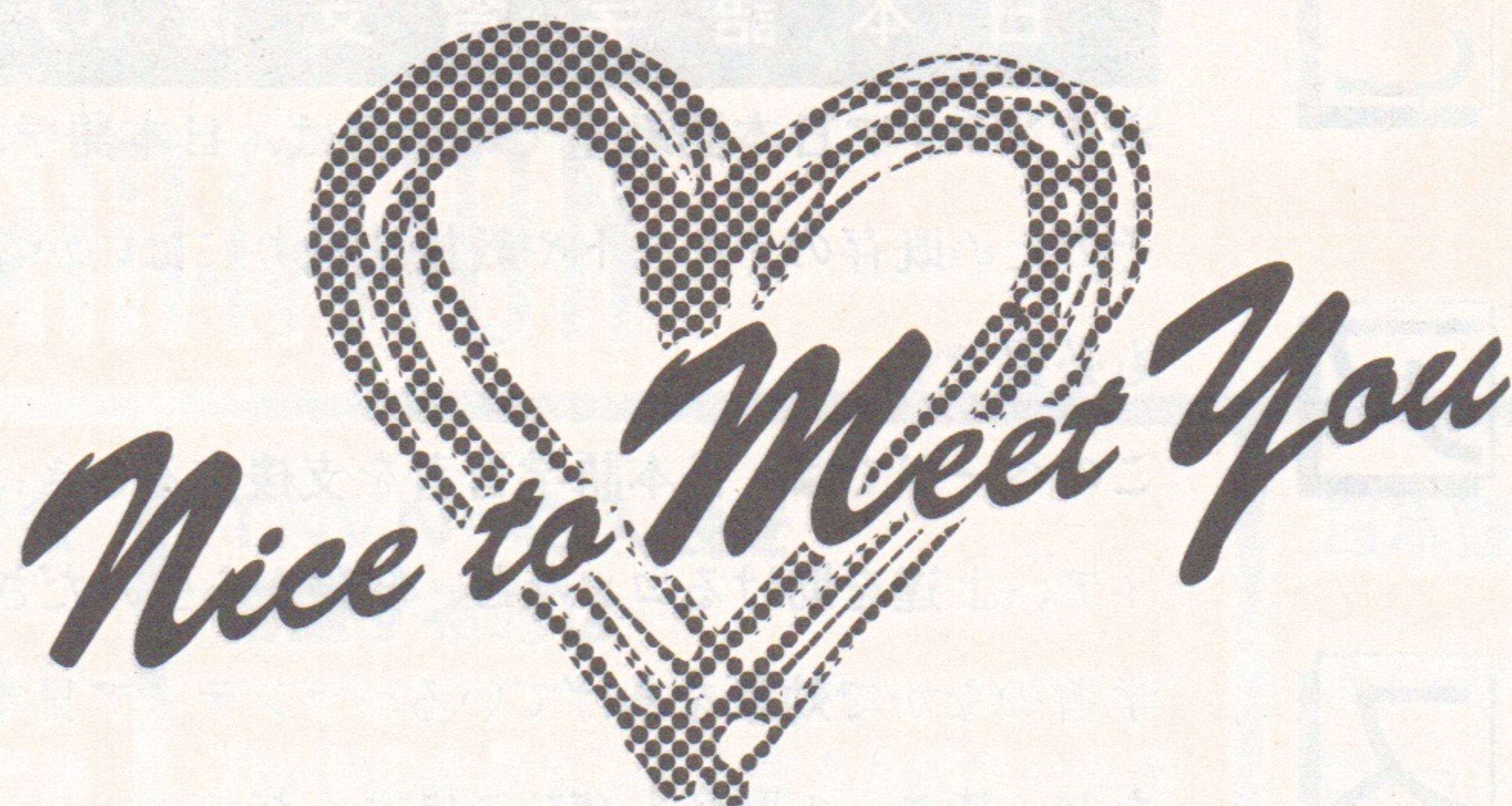
界の国々のことが話題になったとき、地図を見れば一目瞭然です。(ただし、世界地図は国名が変わることもあるので、注意が必要) スペースがない場合は、地図帳を一冊用意しておくといでしょう。

7. 生活習慣について話す

国によって、文化や生活習慣にはずいぶん違いがあります。クリスマスや新年などの行事について、一般的な生活習慣についてなど、折りにふれ話題にすることも大切です。

日本語が上達したからといって、必ずしも日本の文化や習慣を習得したことにはなりません。互いの人と国とを理解する上でも、役に立つと思います。





こんにちは、 「光が丘やさしい日本語」です

グループやさしい日本語（練馬区）

尼子 純一郎

こんにちは。私たちはボランティアで日本語を教えているグループです。毎週木曜日午前10時から12時まで、練馬区光が丘区民センターで教室を開いています。近郊居住者の外国人を対象にしていますが、なかには1時間もかけて通ってこられる生徒さんもいます。国籍もバラエティに富んでいて、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニアと各大陸からの出身者がすべてそろったこともありました。講師は、現在8名（女7、男1）です。

クラス編成は生徒の日本語能力に準じて、初心者から日本語能力検定1・2級受験準備グループまであり、それぞれのグループを8名で分担して教えています。全く日本語がわからない生徒さんがひらがなを読めるようになり、少しでも日本語で話ができるようになって喜んでいる姿や、1級合格を目指してがんばっている様子は感動的なものです。小さなお子さんを連れてくる方も多いのですが、それがまた教室にいろどりを添えています。

ご近所の外国人の方で日本語を勉強したい人がいましたら、ぜひ私たちのグループを紹介して下さい。費用は毎月500円です。



中央：寺島講師

日本語を学習しながら、 心のやすまる場所に

日本語教室「さざんかの会」（青梅市）

坂東 裕美

1992年1月、福生市の「ゆうあい福生」をお手本に「さざんかの会」が生まれました。社会福祉協議会のボランティアグループの1つとなり、言葉のハンディを持った人達に日本語を教えるのと同時に、その人達の心の休まる場所を作ることを目的にしてきました。

そのため、他の地域の日本語教室と同様に、様々な行事をしています。お茶会、料理教室、ピクニック、ポットラック・パーティー、色々なお祭りへの参加等々。そして年度末に1年の締めくくりとして、文集を出しています。その中からご主人の日本駐在で来日し、すでに韓国へ帰った方の文を紹介します。病気をした時隣の人に親切にしてもらい、日本語を勉強する意味を見つけたことを書いています。長い文なので最初の方は略させていただきます。

人間関係と日本語

イ ソンエ

私が生きるための日本語でしたが、こんなふうに人間関係が出来るように日本語を通して努力するならば楽しいことではありませんか。私は考えてみました。勉強の為の日本語は力がありません。人間を愛する為の日本語、生きてゆく日本語、自分を発揮させる日本語こそ、すてきな日本語ではありませんか。私は日本語をとおして愛という大事なことを教えていただいたのです。これからもどんどん勉強して日本語がものになるようにがんばろうと思います。みなさんもがんばってください。ありがとうございます。さようなら。

日本語学習を通して、 国際交流の場に

朴 光冕／大韓民国

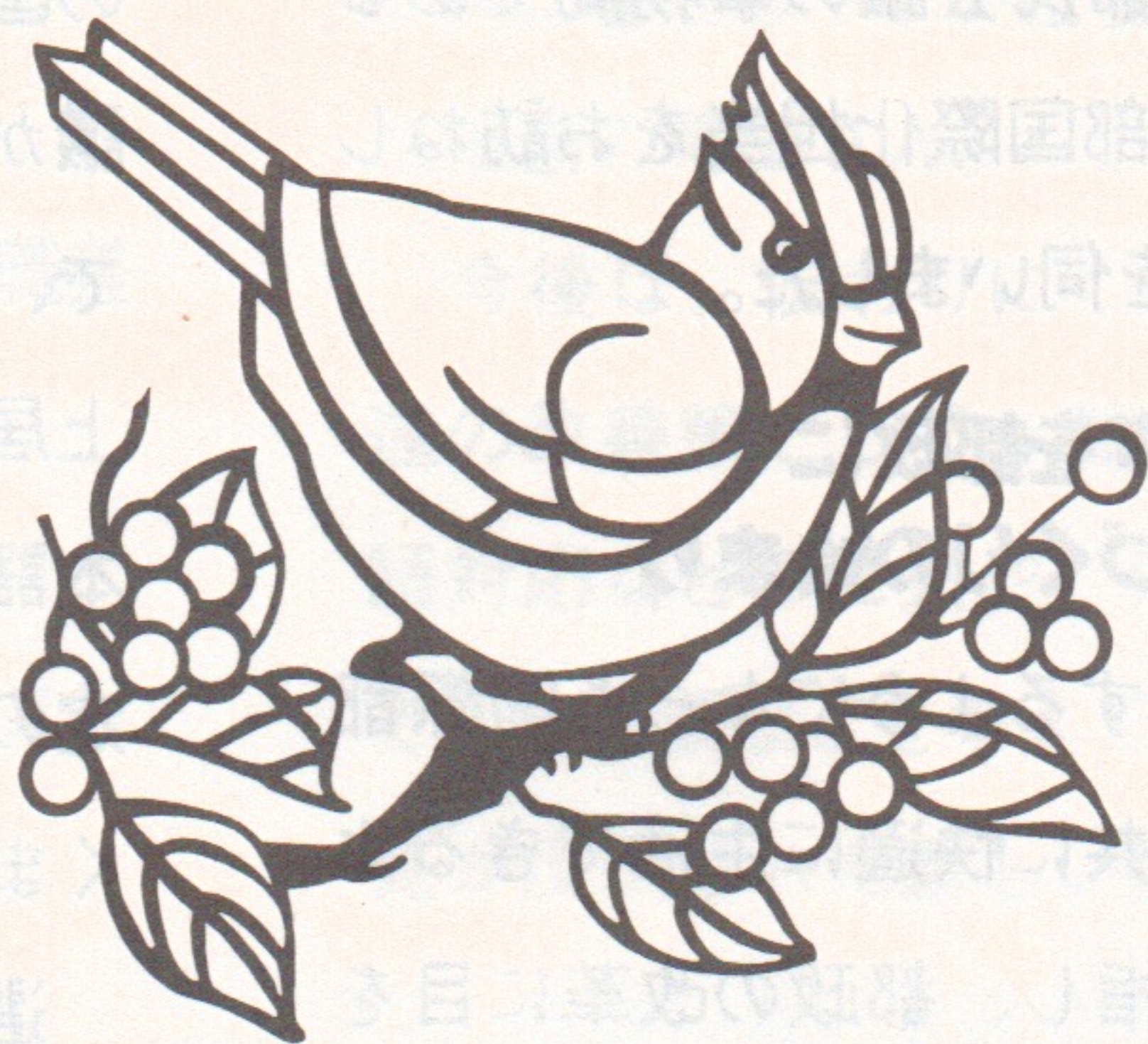
さる4月にNHK教育放送で偶然に東京日本語ボランティア・ネットワークの連絡先を知って、5月から墨田区の日本語の学習（コスモス）に参加しております。日本語は1984年頃、会社内の外国語の生活観（原文ママ）で2カ月ぐらい学んだ後に、日本で研修生として住んだことがあるので、日常の会話は別に不便なことはありません。私が日本語学習に参加している理由は、さまざまな日本人との接触を通じて語彙を増やしたり、日本と日本人をもっと深く理解したいと思いました。実際には本人よりも助けが要る人々が多かったから満足しておりませんけれども、非常によい機会になっております。

ここで感じたことは、やはり日本は先進国だと思いました。なぜならば、学習者として開発途上国とか後進国から来たいろいろな人と接したからです。彼らは大学の進学、日本人の妻とその子ども、日本へ出稼ぎに来た人、日本に駐在する主人と共に来た人などでした。

二番目は、さまざまな階層の人がボランティア活動をしていることです。ただ、家庭の主婦以外に、若者とか男性が少ないのは残念でした。生活が豊かになって自分の生きがいとか自らの存在の確認のため、助けが必要なところに自ら時間とお金を使いながらやるのは、先進国民じゃなければできないと

思います。韓国では、この頃ボランティア活動が始まったばかりなので、もし機会があれば本人と家内も活動をやってみたいと思います。

日本語ボランティアは、とくに日本ではじめて日本語を習う方には助かることです。妻と子どもが日本語を全然知らない状態でも、何か月後には書く、読む、話すことができるし、楽しく学んでいるのを見て、外国人としてほんとうにありがたいと思いました。しか



し、中級以上の学習者が少ないのが残念でした。もちろん、中級以上なら日常生活で不便なことがないからだと思いますけど、日本語以外の交流が少ないんじゃないかと思います。恵まれたことを自分の国の初級者に恩返ししたら、両方とももっと良い勉強になると思います。

言語とは自然環境と歴史、文化が反映されている。すなわち、日本語には雨を表す言葉が多いし、本人が知ってる限り、尊敬語、丁寧語、謙譲語は日本と韓国にしかないし、同じ漢字圏で

すが韓国では使われていない単語、意味が違う単語もあるし、日本語では表現と隠されている意味が違うことを理解しないと、教える方も学ぶ方も限界があると思います。それで、外国人による日本語ボランティアも必要なことだと思います。

学習者の国家、年齢、学習目的、階層などを分析して、ボランティアの方たちが学習者の国家の歴史、文化、日本との関係について深く理解し、学習者がぶつかっている環境に似合う指導方法を工夫するともっと効率的な相互共感の学習になると思います。その点で個人的には日本語のボランティア活動は、日本語の学習以外にも日本語を通じて国際交流の場として発展してほしいです。また、ボランティアたちの開けている心が周辺一般の人びとにひろがると、外国人の日本での生活がもっと楽しいし、良い印象を持つと思います。

要するに、言語の学習とは言語が持つ歴史、自然環境の背景を知って、教えることも学習者を理解して互いに交流すれば、世界は一つになるし平和は我らの手が届くところにあると思います。それで、このような活動は非常に意味があるし、重要なことだと思います。ボランティアのみなさん、ありがとうございます。

東京都生活文化局国際部地域国際化担当 外国人都民会議

〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

外国人と共に 快適に暮らせる社会を目指して

現在、都内で外国人登録されている在住外国人の数は、約27万人。これは、都内総人口の約2.3%にあたります。彼らも東京に住み、納税など一定の義務を負っている生活者であり、地域社会の構成員です。この在住外国人が住民の立場から意見、提案等を述べ、それらを都政に反映させる仕組みの一つとして、外国人によって構成される「外国人都民会議」が設置され、'97年11月から会議が開催されてきています。

今回は、この外国人都民会議の事務局である東京都生活文化局国際部国際化担当をお訪ねして、町田係長にお話を伺いました。

外国人の“生”の声を都政に 暮らしやすい環境づくりの始まり

多くの外国人が在住するようになった国際都市・東京は、外国人も共に快適に生活できるようよい社会の実現を目指し、都政の改革に目を向け始めました。現在東京都に在住している外国人の中からは、「選挙権が欲しい」「外国人の公務員採用を」「外国人の意見を反映させるシステムが欲しい」などの声が都の方に届いているそうです。しかし、外国人が都政に対して意見を言う機会は少なく、彼らの想いが伝わりにくいのが現状です。

こうした状況に対して東京都は、都民参加型の都政を目指すために、日本人側の意見だけでなく、都に在住している外国人の方々からも、感じている、抱えている問題などについて、直接都政に意見や提言などを述べてもらう機会を設けました。その彼らの意見などを反映させるため

の方法として、1997年に「外国人都民会議」が開設されました。

外国人都民会議の仕組み 4つのテーマで意見交換

外国人都民会議の委員は、25人程度で構成されています。委員の選任方法は、公募と指名の2方式。13人以内を公募で選出し、残りの12人以内を行政が指名する形をとっています。指名12人の国籍については、都内在住外国人登録者数の国別順位、上位10か国の中から選びます。会議が開催されるのは、年4回程度。任期は2年間で、資格条件は、満18歳以上、引き続き1年以上居住している外国人登録者で、原則として日本語を理解できる者となっています。委員は特定の国や民族などの代表という考えではなく、あくまでも個人の資格で意見を述べてもらいます。

選出されたメンバーの中から、座長、副座長という、まとめ役を選出。会議では、初回に自分たちが抱えている問題や意見などを出し合い、テーマを決めていきます。常に念頭にあることは、「外国人が今必要としていることは何か？」ということです。

第1期の会議は、大きく4つのテーマに分けられました。

●情報

◎外国人住民に十分情報が伝わるように一層のPRの工夫

◎新聞・テレビなどいろいろなメディアを使っての情報の提供

- ◎情報の内容が外国人にも理解できるように、漢字にルビをふるなどの配慮・街の表示も記号化を図るなどわかりやすく、など。

●意識づくり

- ◎外国人の人権を尊重する意識の普及
- ◎マスメディアによる外国人に対する不当な報道の是正
- ◎国籍条項により外国人が排除される制度の解消
- ◎国際理解教育の一層の努力
- ◎地方参政権の獲得、など。

●くらし

- ◎保健医療情報の効果的な提供と病院での相談体制
- ◎外国人の年金の脱退一時金制度や無年金者の救済など、制度の改善
- ◎在日外国人児童・生徒に対する学校の受け入れ体制の整備や日本語教育
- ◎外国人学校に対する支援拡充、など。

●まちづくり

- ◎外国人労働者への労働相談向上や、就職差別をなくす
- ◎入居差別の解消と住宅確保
- ◎資源活用のために、ゴミの分別収集をより効果的に
- ◎災害時の外国人への情報伝達、など。

全員が意見を言えるように、委員を3つの部会に分け、全体会議の前に討論してもらい、ある程度まとまった意見を提出をし、全体で討論をする流れになっています。

【外国人都民会議の委員になって】

●笹本エヴェリンさん（アメリカ）

「日本に20年住んでいます。外国人がもっと住みやすくなるようにとボランティア活動をしてきました。そのひとつとして、東京外国人都民会議にも参加。3月で第1期の任期が終わりますが、いくらかは都の方々が、私たち外国人都民の状

況をわかってくれるようになったと思います。これからも期待しています」

●リヤナガマゲ・ワサンタさん（スリランカ）

「東京は国際大都市というわりには、地域で生活する外国人住民やニューカマー達にとって、住みにくい問題がたくさんあります。ですから、誰もが住みやすい街づくりに参加したいと思いました。自分の意見や要望などを、たくさん出すことができました。どれだけ都の方で実行してもらえるのかが、今後の楽しみです」

|| できる問題から即対応！ つながりつつあるパイプライン

会議の中で、情報公開を求める意見として、在住外国人がどれくらい日本にいるのか知りたいという声が上がりました。これに対し東京都では、『広報 東京都』の1面に、昨年5月から外国人登録者数の掲載を開始しました。「できることをひとつずつ積み重ねることで、日本人と外国人が共に暮らしやすい社会ができる」と語ってくれた担当の町田さん。

今後は、伝わりにくいと言われている情報伝達の改善策として、都政のホームページの外国語対応などの工夫や、外国人と日本人とが交流できる事業などを考えているそうです。都民の意見が反映された新しい都政のこれからの期待して、注目したいものです。

この外国人都民会議は、誰でも傍聴が可能です（当日直接会場へどうぞ）。会議の開催日などをチェックして、あなたも外国人の“生”の声を聞いてみてはいかがでしょうか。



第13回

直せない日本語

「正しい日本語」とは何か

日本大学講師

福田知行

先日、外国の知り合いの人から電話があって、会いたいという話になったとき、「来週は暇なんですから、水曜か木曜に会いたいんですね」

と言われました。私はこういう言い方には慣れているので、この方は

「来週は暇なので、水曜か木曜に会いたいんですが」

というつもりだろうと思いましたが、その方は私より少し年齢も上であり、久しぶりに電話をくれたという状況なので、まさかその場でその方の日本語を直すようなことはしませんでした。しかし、あとになって、外国の人が少し変な日本語を話した場合に日本語ボランティアはその変な日本語を直すことができるだろうかと考えてみました。

まず、日本語を訂正するところが相手の面子（めんつ）を潰し、人間関係を壊すのではないかと考えて訂正できない場合があります。次に、相手の「変な日本語」のどこが変で、なぜそれが変なのか、そしてどう直せばいいのか、直す側がわからないために訂正できない場合もあります。この場合は「直せない」と



いうよりも「直してあげられない」ということになるかもしれません。また、日本語を勉強中の学習者にとって訂正されることが、間違いを恐れて会話ができなくなる原因になる可能性もあります。

では、どうしたらいいか。それは双方の人間関係と状況によって違って来るだろうと思います。たとえば、授業中の教師と生徒、またはかなり親しい関係ならばいいかもしれませんが、授業が終わった後や、あまり親しくない人から訂正された場合には反発されるだけかもしれません。結局は何のための訂正なのかという問題なのです（「小さな親切、大きなお世話」という言葉もあります）。

ちなみに「～なんだから…」は、聞き手も知っているはずの「～」という事実の結果として「…」という結論になる場合に使用しますが、普通は「…」の部分は推量（…だろう）とか忠告（…したほうがいい）とか命令（…しなさい）などが来るので、ここでは適切ではありません。また「…んですね」は話し手が聞き手に念を押す場合に使い、話し手の希望を遠慮がちに述べるには「…したいんですが」を使うのが普通です。

国際電話も国内電話も
どっちも割引

登録料・基本料
なし

KDD

KDD かけどくパック

国際電話がダンゼンおトク!

土日祝日は一日中、平日は夜9時から深夜割引料金に
そのうえ、深夜割引からさらに**25%割引!**

例えば、ひと月6,000円かける場合、
1,500円もおトク。

平日8:00～21:00までは10%割引となります。
ひと月300円以上のご利用で割引が適用されます。

+

安い国内電話がさらに10%も割引!

例えば、深夜・早朝
(23:00～翌8:00)...

3分間

東京⇄大阪

(100kmを超える地域宛)

NTTは

¥60

長距離系
新電電でも

¥50

KDDなら
かけどくパックで

➡ ¥27

NTT、長距離系新電電の料金は各社の通常料金です。(1998.8.1現在)
通話料金は相手先との距離および通話時間帯により異なります。
ひと月300円以上のご利用で割引が適用されます。

請求書もひとまとめになるから便利。

これからは、国際電話も国内電話も001

お申込み・お問い合わせは今すぐ!

0120-01-5971

(毎日9:00～21:00/無料)

日本の常識

Common sense in Japan

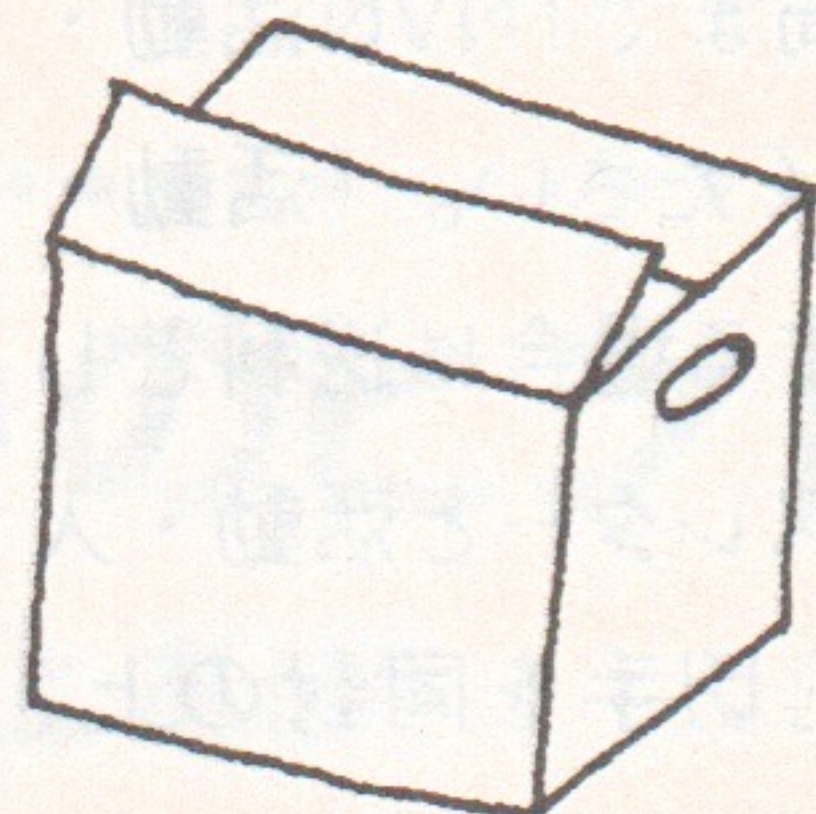
テレビやラジオから流れてくるニュースでは、毎日のように地球温暖化、オゾン層破壊などといった環境問題がとりあげられています。どうにかしなければいけないと思いつつも、何をどうしたらいいのかわからないといった声もしばしば耳にします。そこで、誰にでもできる身近な環境問題への取り組みについて考えてみることにしました。

私たちが生活するうえで、日々排出されるゴミの量は、とてもたいへんなものです。焼却すればその分のゴミはなくなりますが、分別をされていないゴミが混じっている場合は、人体に有害なガスを発生したりしてしまう恐れがあります。ゴミをきちんと分けるだけのことで、これらを防ぐことが可能なのです。面倒だから分けない人、分別しているつもりでも実は間違っている人も多いはず。これは、簡単なことのように、実はとても難しいことなのです。「そのくらいいつもやっている」という人もいますが、どれだけきちんと分別できているか、再度チェックしてみましょう。

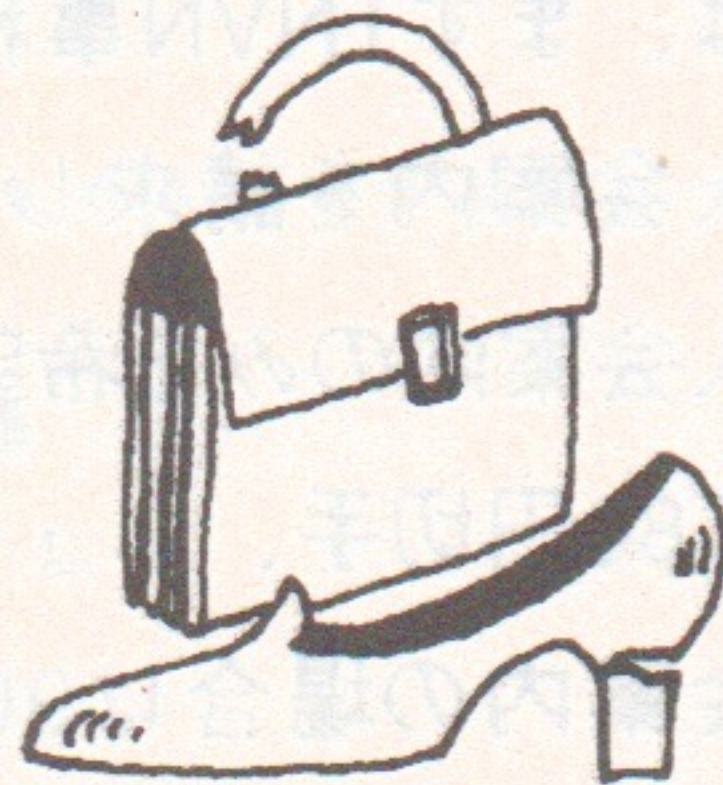
ゴミの収集日は、地域によって違います。自分の地域の燃えるゴミの日、燃えないゴミの日、資源回収日はいつなのか、確認してください。粗大ゴミを出す場合には、地域の粗大ゴミ回収窓口に電話で予約をしてください（有料）。また、地域によって乾電池だけを回収しているところや、電気屋の店頭で回収ボックスを設置しているところがあるので、見かけたら積極的に利用してください。

ここにたくさんのゴミを用意しました。これらを燃えるゴミ、燃えないゴミ、粗大ゴミ、資源ゴミに分別してみましょう。ゴミの分別方法は地域によって違うので、注意して分けてみてください。

1.ダンボール



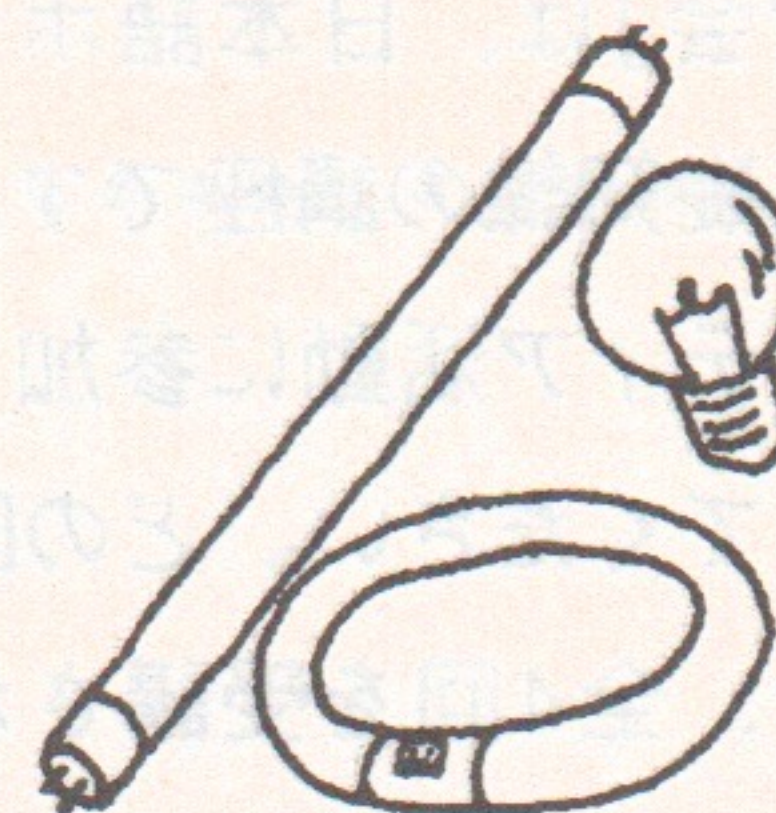
2.靴、かばん(皮革製品)



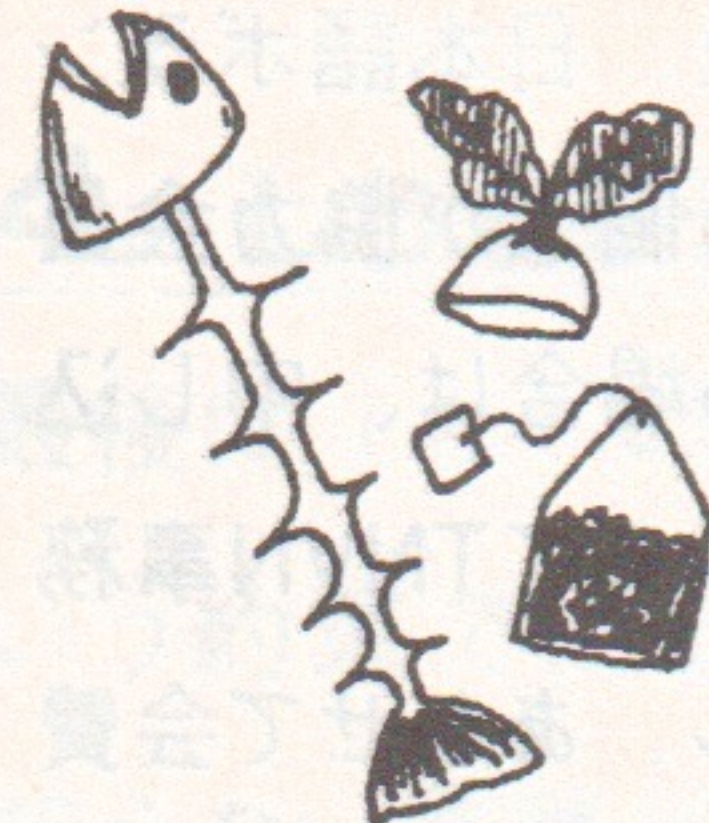
3.乾電池



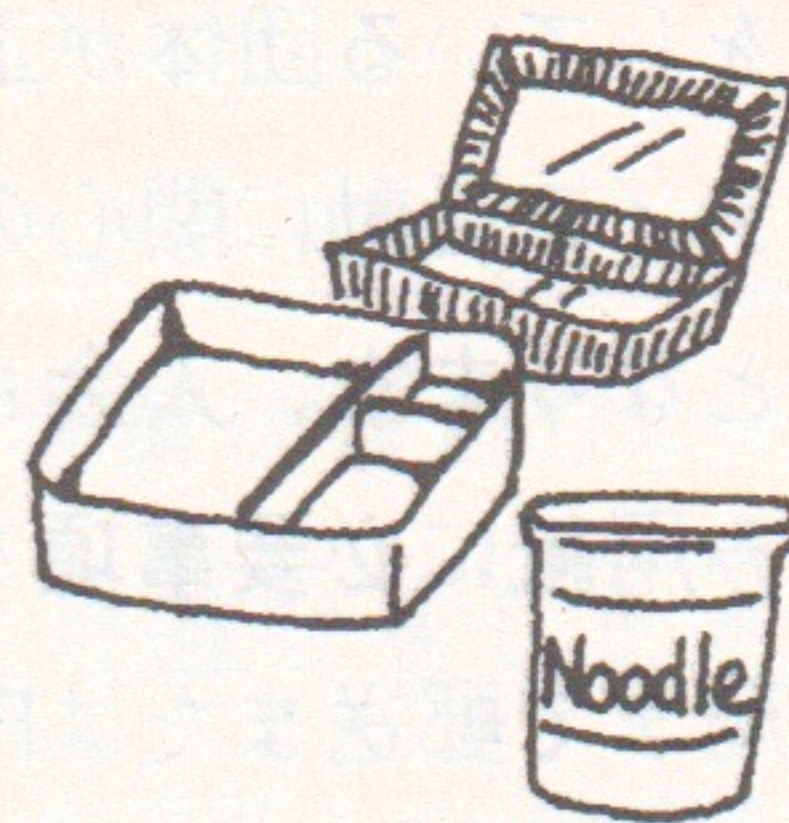
4.電球



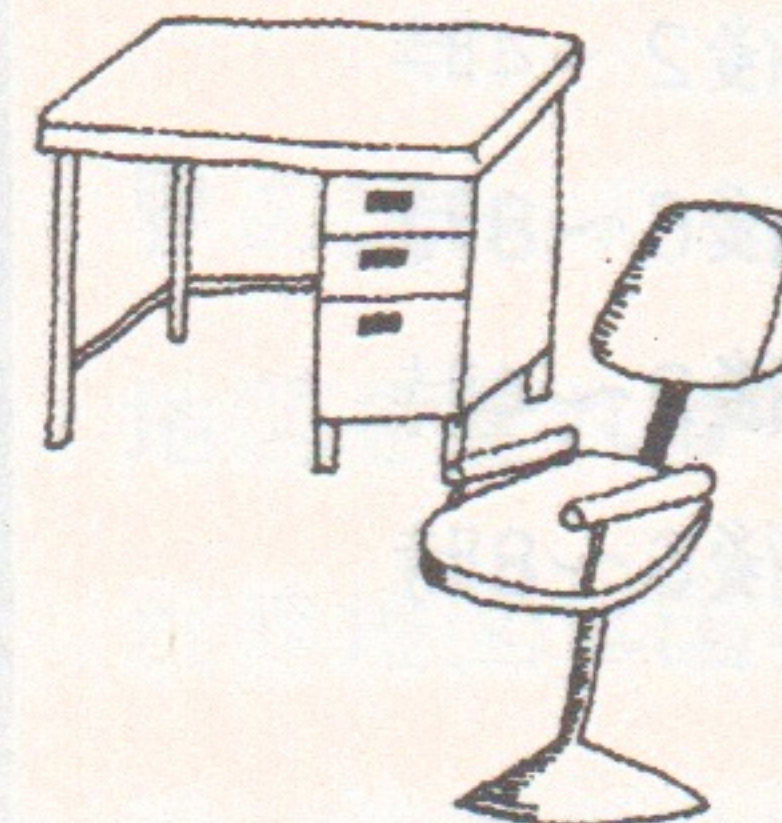
5.生ゴミ



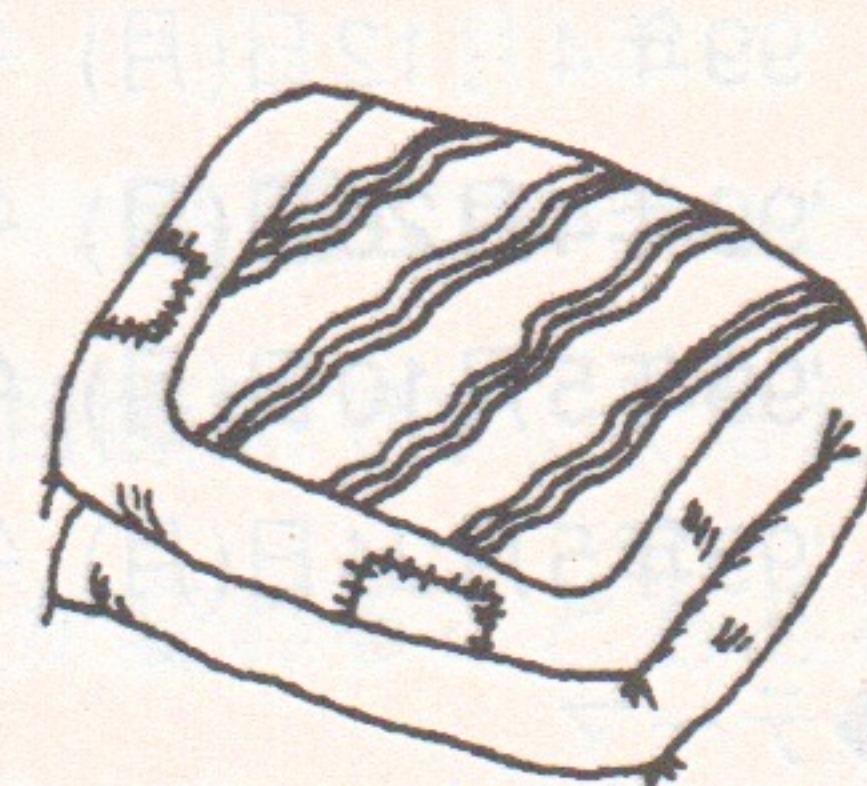
6.お弁当の容器



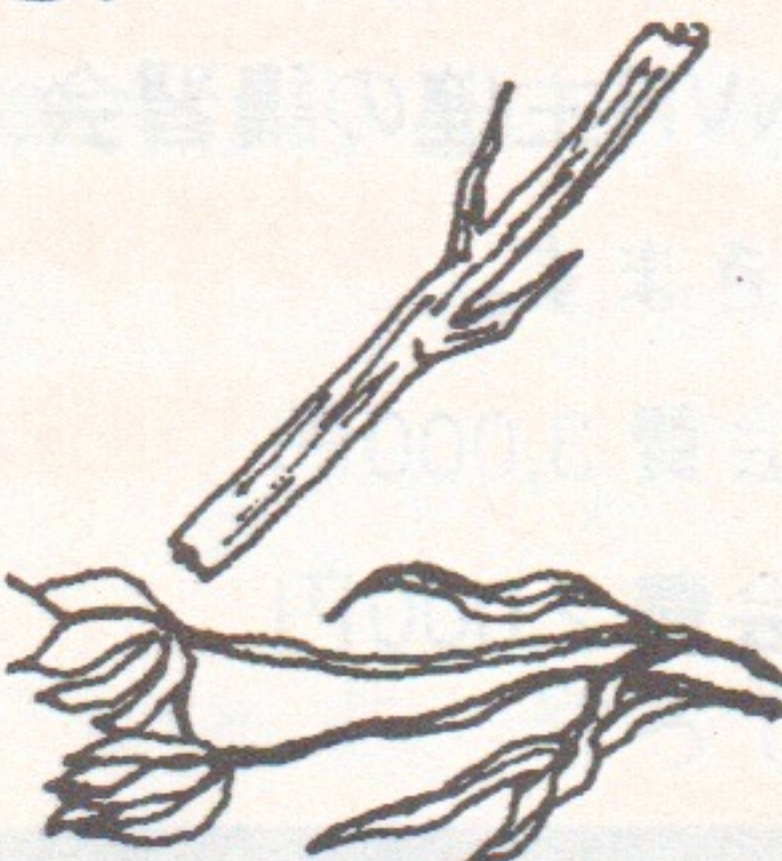
7.机と椅子



8.ふとん



9.木や花



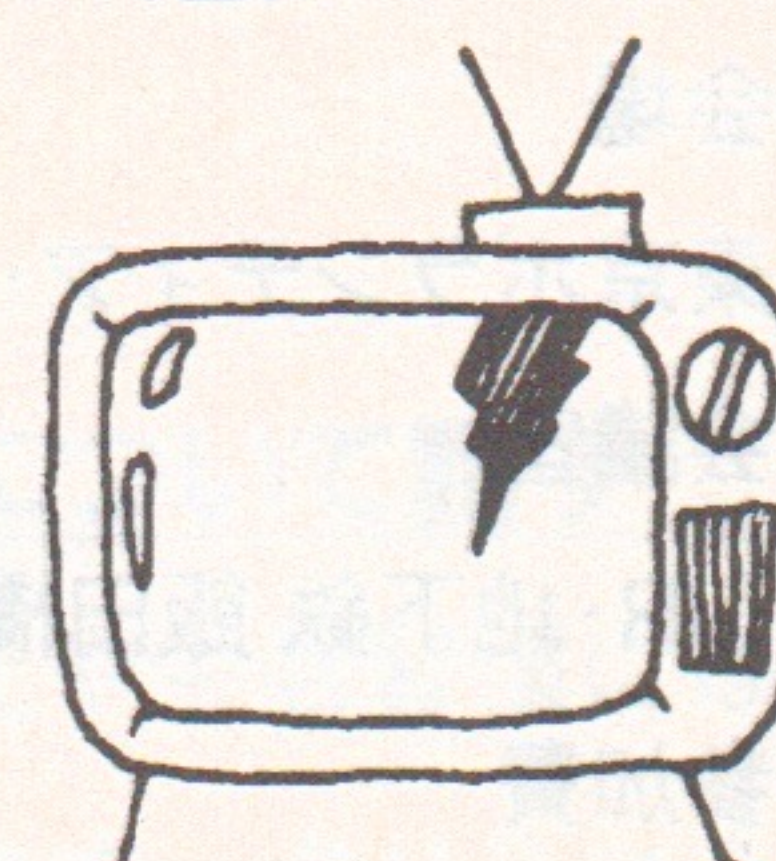
10.ガラス瓶



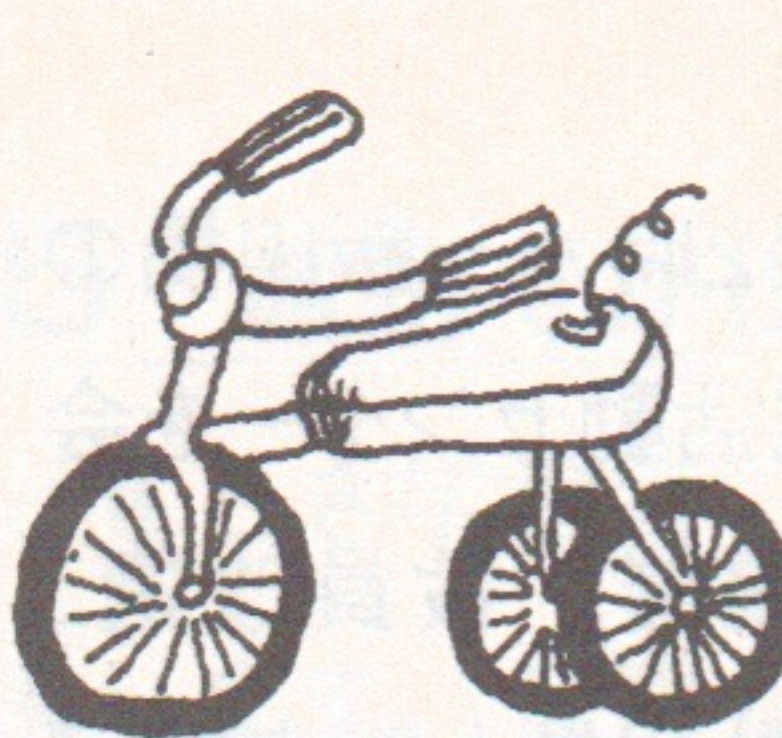
11.マヨネーズやケチャップの容器



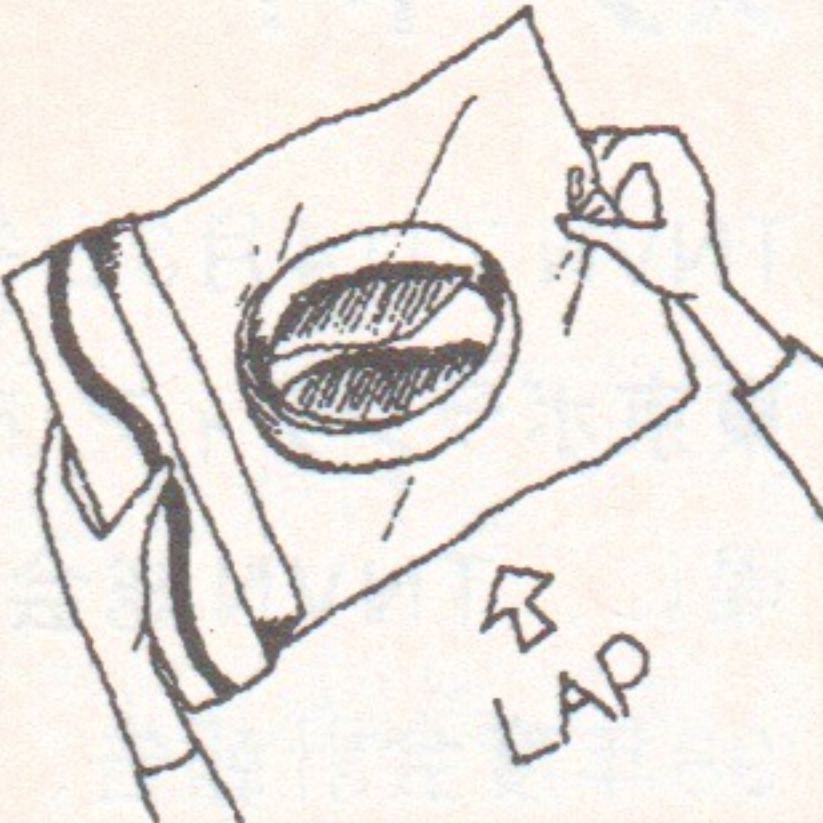
12.テレビ



13.三輪車



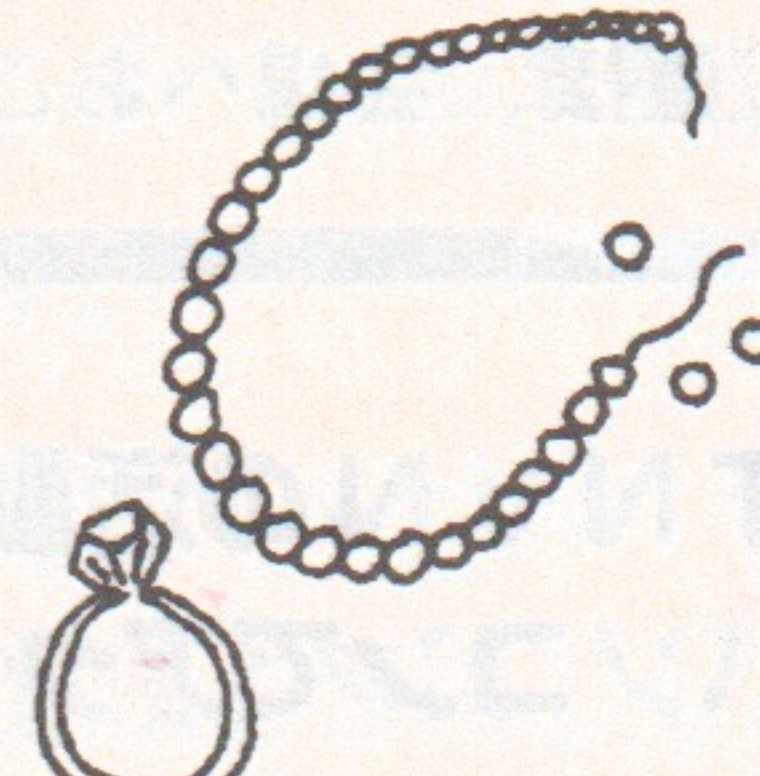
14.サランラップ、アルミホイル



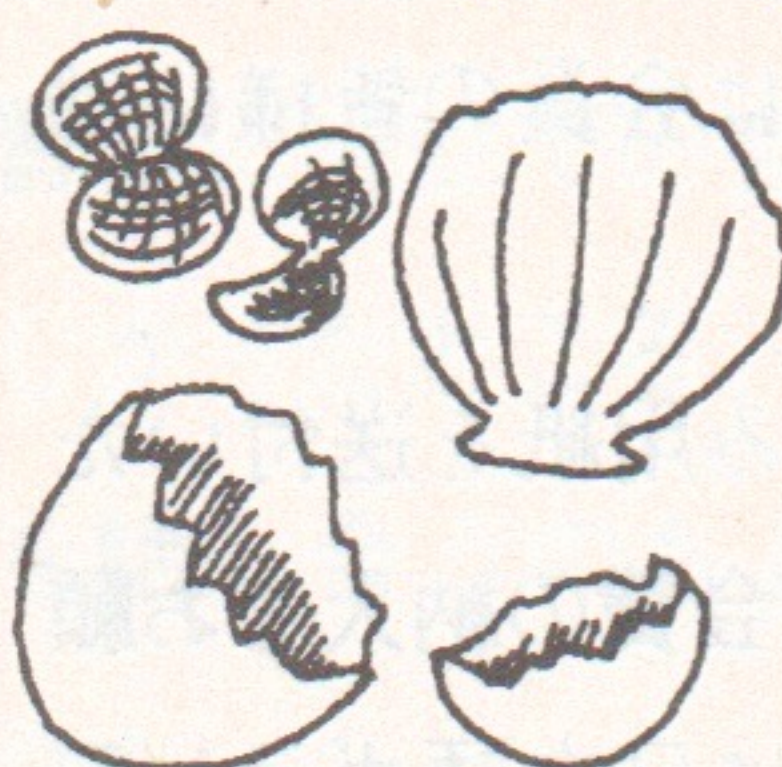
15.スプレー缶



16.アクセサリ



17.卵の殻や貝殻



18.新聞、雑誌



19.食器



20.アルミ・スチール缶

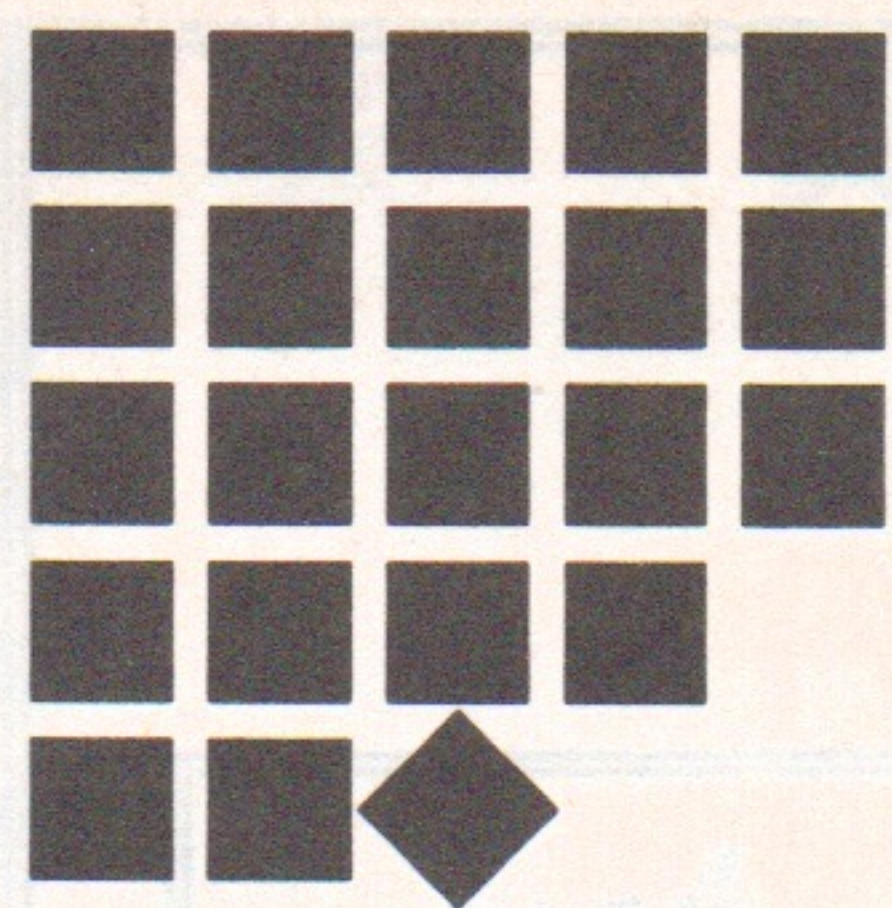


イラストレーション MARIKO MATSUO

こたえ

(ゴミの種類)

- *可燃ゴミ／燃えるゴミ ⑤⑨⑪ 【紙くず、台所の生ゴミなどの燃やせるゴミ】
- *不燃ゴミ／燃えないゴミ ②③④⑥⑪⑭⑮⑯⑲ 【ガラス、陶器、金属、プラスチックなどの燃えないゴミ】
- *粗大ゴミ ⑦⑧⑫⑬ 【家具、家電製品、などの大型のゴミ】
- *資源ゴミ ①⑩⑭⑲ 【古新聞、古雑誌（地域によってはガラスびん、アルミ缶なども）など、回収して再利用できるゴミ】



NETWORK INFORMATION

日本語ボランティア入門講習会

これから日本語ボランティアを始めたい方のための「日本語ボランティア入門講習会」は、日本語ボランティアに役立つ基礎知識の講座です。初めて日本語ボランティア活動に参加する方は、ぜひ受講してください。どの回からでも受講可能で、全4回を受講された方には修了証をさしあげます。

◆日時

'99年4月12日(月) 午後2～4時
'99年4月26日(月) 午後6～8時
'99年5月10日(月) 午後2～4時
'99年5月24日(月) 午後6～8時

◆テーマ

(4月) 日本語学習者の現状
(5月) 日本語をどのように教えるか

◆会場

東京ボランティア・市民活動センター
会議室
(JR・地下鉄 飯田橋駅下車 徒歩1分)

◆参加費

1回 600円 (TNVN会員は300円)

◆参加申込み

直接、会場へおこしてください。

TNVNの活動情報へ パソコンでアクセス!

インターネットのTNVN活動情報にアクセスして、日頃の活動にお役立てください。また、TNVNへの要望や意見などもお待ちしております。

<TNVNホームページ>

TNVNの講習会など活動情報や教室ガイドの情報も掲載しています。

◆URL: <http://www.t3.rim.or.jp/~tnvn/>

◆MAIL ID: tnvn@t3.rim.or.jp

※なお、上記のホームページにボランティア募集やイベント参加者募集などの情報掲載をご希望の方は、事務局までご連絡ください。

TNVNへの入会を 希望する方は...

TNVNの会員として入会を希望される方は、まずTNVN事務局までTNVN活動・入会案内を請求してください。(活動・入会案内のみを希望する場合は送料として80円切手、ニュースレターと活動・入会案内の場合は90円切手を同封の上、郵便にてお申し込みください)

TNVNの会員は日本語ボランティア活動をしている団体が正会員、日本語ボランティア活動に関心のある個人が協力会員となります。入会される場合は、申し込み用紙に必要事項を記入してTNVN事務局まで郵送またはFAXし、あわせて会費をお振り込みください。

会員の方には毎回TNVNニュースレター等を郵送するほか、TNVN主催の講習会等へ会員価格で参加できます。

◆会費/正会員 年会費 3,000円
協力会員 年会費 2,000円

TNVNの新年度が スタート!

TNVNでは4月3日午後2時から飯田橋の東京ボランティア・市民活動センターを会場に、TNVN総会を開催。役員改選、'98年度会計報告、活動報告も無事終了し、新たな体制で'99年度の活動をスタートしたところです。(総会での報告・決定事項の詳細については会員の皆様には別途ご報告します)

会員の皆様には払い込み用紙を送付いたしますので、'99年度の会費の納入をお願いいたします。TNVNは日本語ボランティア活動をしている団体の民間のネットワークとして、行政等からの支援もなく、会員の会費収入とボランティアスタッフの労力によってその活動が支えられています。どうかご理解の上、ご協力をお願いいたします。

日本語ボランティア相談

日本語ボランティア相談窓口では、日本語ボランティアに関するご相談・ご質問にTNVNのベテランスタッフがおこたえします。お気軽にご利用ください。

◆日時/毎週月曜日 午後2～7時

◆会場/

東京ボランティア・市民活動センター

◆電話でご確認の上、おこしてください。

TEL: 03-3235-1171(呼出し)

ネットワーク情報交換会の お知らせ

会員相互の交流の場として隔月で開催している「ネットワーク情報交換会」を下記のスケジュールで開催します。この機会に自由に意見や情報を交換して、日頃の活動にお役立てください。

TNVN会員以外の方の参加も歓迎しますので、日本語ボランティアについて知りたい方や活動現場の声を聞きたい方もお気軽にご参加ください。

◆日時/5月21日(金)午後6～8時

◆会場/東京ボランティア・
市民活動センター 会議室

◆参加費/無料

◆当日、直接会場へおこしてください。

TNVN事務局の連絡先

TNVN事務局は、原則として毎週月曜日午後2～7時まで東京ボランティア・市民活動センターで活動をしています。TNVNへのお問い合わせ等は、下記までなるべく郵便かFAXをお願いします。

〒162-0823 新宿区神楽河岸1-1

東京ボランティア・市民活動センター気付

TNVN 東京日本語ボランティア・
ネットワーク

●TEL: 03-3235-1171

(呼出し/月曜日午後のみ)

●FAX: 03-3235-0050



「ボランティア日本語教室ガイド」、領布中！

『ボランティア日本語教室ガイド』には、145クラスの活動情報を日本語と英語で掲載。あわせて、外国人のための情報源や相談窓口などのデータも掲載しています。さらに、新たに加入した団体の情報や連絡先等が変更になった団体の情報をまとめた改訂版もプラス。ご希望の方は、東京ボランティアセンターの窓口へ直接おこしいただくか、郵便振替で料金をお払込みください。入金を確認次第、郵送します。

◆領布価格(実費)／1冊600円
郵送希望の場合は送料込み1000円

◆払込み先
郵便振替口座番号 00100-1-719259
(通信欄に『教室ガイド』と記入)

◆加入者名
東京日本語ボランティア・ネットワーク

「第9回 インターナショナルデー」のご案内

◆日時／'99年4月25日(日)
11:00～17:00

◆会場／東京カテドラル
地下鉄 有楽町線江戸川橋駅・護国寺駅より徒歩5分

◆内容
国際ミサ、食品や衣料品などのワールドバザー、スタンプラリー、アトラクション、国際カラオケと交流など

◆主催／カトリック東京大司教区
インターナショナルデー委員会



「寺子屋Kidsセンター」が学習支援ボランティアを募集

外国人や国際結婚などの家庭の子どもたちの学習や宿題などをサポートしている寺子屋Kidsセンターでは、学習支援ボランティアを募集しています。

◆日時／原則として毎週水曜日
15:00～17:00 17:00～19:00

◆会場／
京王線 永山駅よりバス10分(中田宅)

◆学習者／5歳～中学2年生くらいまで

◆学習支援者会費／月額 500円

◆申し込み・問い合わせ／中田 紀子

TEL／FAX：042-372-2236

「外国人による日本語弁論大会」出場者を募集

財団法人国際教育振興会が日本語の国際的な普及と日本語学習の成果を披露する機会を提供することを目的に毎年開催している「外国人による日本語弁論大会」の出場者を募集しています。

◆出場資格／母語が日本語以外で、大会当日に満15歳以上の方
(過去の本大会で1位・外務大臣賞・文部大臣賞を受賞していない方)

◆テーマ／
自由7分以内(伝道・宣伝は不可)

◆応募書類／所定の申込用紙、スピーチを録音したカセットテープ、スピーチ原稿、顔写真3枚

◆応募締切／'99年4月22日(木)17:00必着

◆大会日時／'99年6月12日(土)13:00より

◆大会会場／福岡シンフォニーホール
(出場者の国内長距離往復運賃は主催者が負担)

◆問い合わせ／国際教育振興会
「外国人による日本語弁論大会」係
電話：03-3359-9600
FAX：03-3353-8908

「八幡山日本語教室」が日本語学習者を募集

TNVN会員団体の八幡山日本語教室では、日本語を学びたい学習者を募集しています。近くの方がいらしたら、ぜひご紹介ください。

◆学習時間／毎週火曜日 17:30～19:30

◆会場／
東京都中部精神保健福祉センター
会議室

京王線 八幡山駅より徒歩2分

◆学習者会費／月額 300円

◆申し込み・問い合わせ／内田 三和子

TEL：03-3322-1202

「ASPB ラオスの子どもに絵本を送る会」

1982年からラオスの子どもたちに絵本を送る活動をしている「ASPBラオスの子どもに絵本を送る会」。現在はラオスの子どもたちの教育環境を支援するさまざまなプロジェクトのために、寄付や協力、活動に参加するメンバーなどを募集しています。

◆問い合わせ・申し込み／
事務局 赤井・小川
TEL／FAX：03-3755-1603

ボランティア日本語教室ガイド改訂版の訂正

ボランティア日本語教室ガイド改訂版に下記の誤りがありました。訂正して、お詫びいたします。お手許に改訂版をお持ちの方は訂正をお願いいたします。

●P1：日野国際友好クラブ
連絡先の久保田美子さんの電話番号
042-594-0773

●P9：路線別早見表
「JAFS」の最寄り駅は東急大井町線・池上線 旗の台駅

BULLETIN
BOARD

SPECIAL THANKS

★KDD 国際電信電話(株) 様

ニュースレターの印刷にご協力いただきました。

★東京都生活文化局国際部

外国人市民会議 様

快く取材に応じていただきました。

メディアに見る TNVN情報

◆講談社 発行『週刊現代』

'98年10月10日号

日本語ボランティアの活動事例の紹介

◆アルク 発行『月刊 日本語』

'99年4月号

TNVNの活動の案内

Welcome! 新入会員のご紹介

◆正会員(団体)

八幡山日本語教室 (世田谷区)

◆協力会員(個人)

永井 慧子、関本 保孝、西見 二昭、

石橋 恭枝

(敬称略)

'99年3月20日現在の会員数は、正会員78
団体・協力会員118名・賛助会員10です。

事務局DIARY

第2月曜日は、毎月開催されている日本語ボランティア入門講習会午後の部の開講日です。この時間帯はTNVNの事務局も、もちろん同時に仕事をしているわけです。この日本語ボランティア入門講習会は毎月1テーマですから、第4月曜日の夜も同じテーマで開講されています。私は毎月第2月曜日の入門講習会午後の部の受付兼雑用係として、TNVN事務局の手伝いに参加しています。

TNVNの事務局は、さまざまな問題を手早く、要領よく、テキパキとさばいて、ほんとうに見ていて感心してしまいます。私は毎月の手伝いに参加していて、事務局で耳にしたこと、講習会で勉強したこと等々で、私自身の活動に幅ができてほんとうに助かっています。

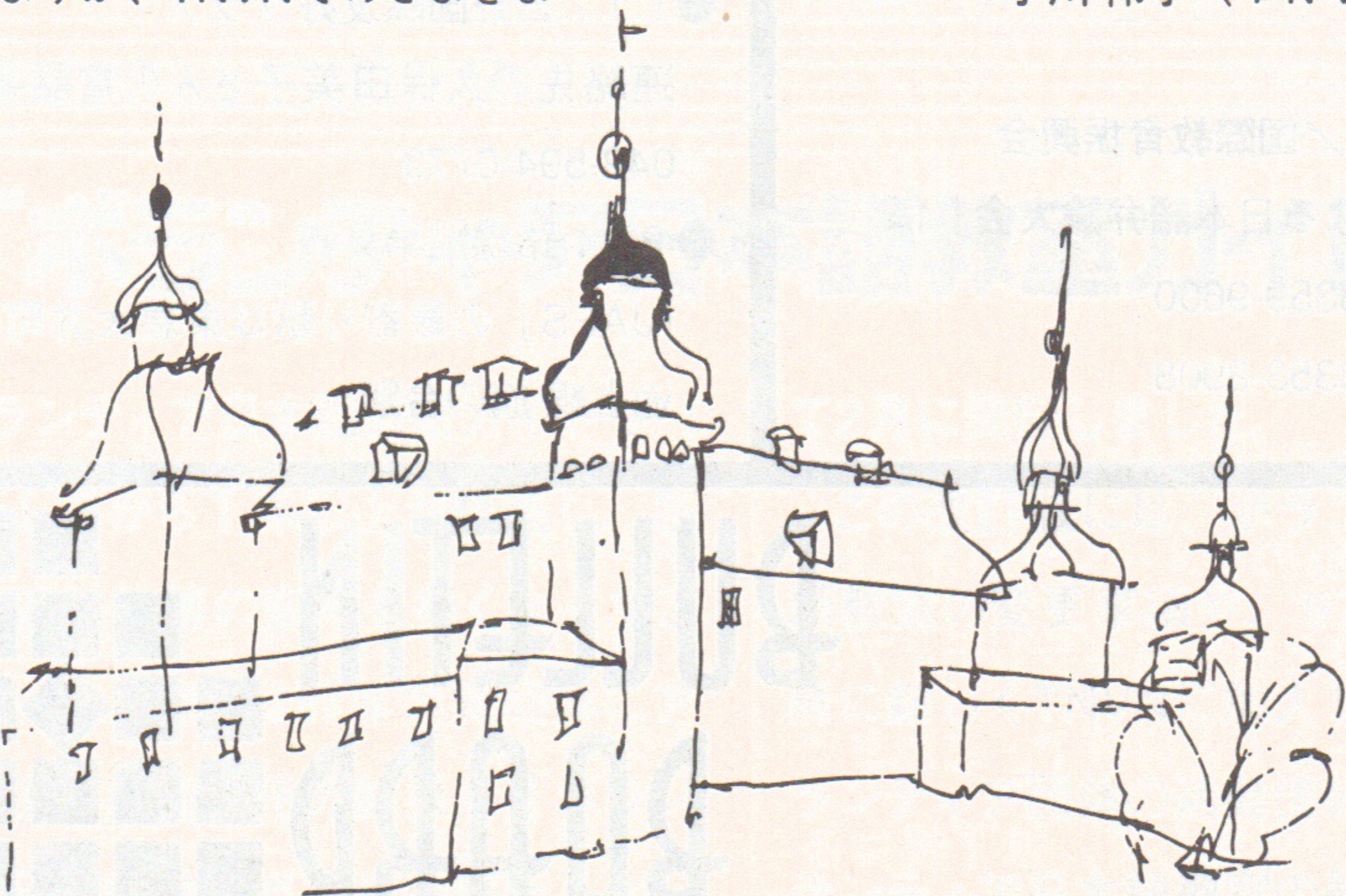
私の日本語ボランティア活動は、学習者の善意にも助けられてまもなく6年目になりますが、TNVNでのさまざま

な勉強と事務局の方々の助言のおかげでこれまで続けてこられたと思っています。これからも学習者がいる限りは、がんばって日本語ボランティアを続けるつもりです。そのためには、どうしてもTNVNの力を借りたいと切に思うこの頃です。

日々、移り変わる日本語ボランティアをとりまく状況に対処して、TNVN事務局のスタッフ一同もがんばっています。会員の皆様もTNVNを力強い味方と思って、活動に役立ててください。

この日の日本語ボランティア入門講習会は、全4回の講習会を修了された受講者2人に代表から修了証が手渡され、スタッフ一同、拍手でお祝いました。受講者の方々のこれからの日本語ボランティア活動に、少しでもお役に立つことができればと念じています。

小川 伶子 (TNVN運営委員)



編集後記

●ニュースレターの発行予定が大幅に遅れてしまい、みなさまにご迷惑をおかけしました。深くお詫びいたします。

●TNVNも4月から新年度となり、活動6年目を迎えます。この機会に、ニュースレターも次号から紙面をリニューアルしてお届けする予定です。ニュースレターへのご意見・ご要望、投稿など、みなさまからの声をお待ちしています。また、ボランティアとして編集作業に参加していただける方も歓迎いたします。



発行人／中田 紀子

編集人／前田 恭子

レイアウト／鶴田 環恵



TNVNとは

TNVN東京日本語ボランティア・ネットワークは、ボランティア日本語教室活動を行っている団体のネットワーク(連絡協議会)として、情報交換や活動の活性化を図ることを目的に、1993年12月に結成されました。TNVNの会員はそれぞれの地域で日本語教室活動を通じて、言葉のために日常生活に不自由を感じている外国人などを隣人として支援しています。